

にいがた労福協

〈ライフサポートセンター〉

No.34 2018年7月17日発行

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2

Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891

E-mail ni-rfk@bz04.plala.or.jp

URL <http://www.niigataken-roufukukyo.com/>

発行責任者 間 英輔

第39回定時総会・記念講演・創立30周年記念祝賀会

6月20日(水)新潟東映ホテルにおいて、県労福協第39回定時総会が開催され、会員団体から129名が参加しました。

主催者を代表して、齋藤理事長から

「2007年にスタートしたライフ・サポート事業により、県労福協の事業は、それまでの会員相互の親睦と国際交流が中心という、事業から大きく変化しました。その後は、「ろうきん福祉財団」の財政的支援による人材育成、パーソナル・サポートサービス事業(現在の生活困窮者自立支援事業)、よりそいホットラインやフードバンクの取り組みなど、さまざまな事業に関わるところとなりました。

県労福協は、1988年、連合新潟結成の前年にスタートし、本日、創立30周年の記念祝賀会を開催する。中央労福協が間もなく70年を迎え、東部ブロックが昨年50周年を超え、全国の労福協組織は新潟より長い歴史がある。逆に新潟は浅い歴史の中で、余地・伸び



しろが多かったことで新しい取り組み・事業に柔軟に取り組めたのではないかな。

2007年以降、様々な事業に関わることに、多くの団体との連携が生じたこともあり、連合・労金・総合生協の3団体中心の県労福協は、現在14団体まで会員数が増えた。

そして、様々な団体との連携による取り組み・事業は「まきこみ型」であり、「まきこみ型」は、お互い様。

一つは、得意分野での力の発揮：餅屋は餅屋

二つは、動きながら考える：外への刺激と外からの刺激

三つは、ともに進める：支えあい、助けあう「人」とのつながりは、「まきこみ型」の活動

とともに拡大し、強固になっていくのだと、その必要性を痛感した。

今後、これまで培った「まきこみ型」の運動スタイルでの、事業の継続・発展を期待する。」との挨拶がありました。

総会では、2017

年度の事業報告、2018年度事業計画の報告、2018年度収支予算報告を行い、2017年度の決算報告の承認と



監査報告、組織事情で6人の辞任があり改選年ではありませんでしたが、5名の理事・1名の監事が交代し新役員が承認されました。

総会後の理事会において、齋藤敏明理事長が代表理事を辞任し、新理事長に牧野茂夫氏(連合新潟会長)、副理事長に齋藤敏明氏(連合新潟顧問)が選任されました。

第2部の、県労福協創立30周年記念講演は、賀川記念館の西参事から「共済の父・労働組合の母 賀川豊彦の思想と実践について」と題して、賀川豊彦氏の偉大な足跡が述べられ、その思想が現在においても脈々と流れている実態を参加者全員で共有しました。

第3部の、創立30周年記念祝賀会には、新潟県知事をはじめ多くの来賓の皆様、中央労福協、東部ブロック労福協、労働団体・友誼団体の皆様から総勢206名の参加を頂き盛大に開催しました。

特に、アトラクションとして、古町芸妓の皆さんから祝いの舞(四季の新潟春夏秋冬・お祝いさわぎ)を披露いただくとともに、ヤングキャベツ(フードバンク大使)から爆笑コントを披露していただき、大変楽しい祝賀会となりました。



第89回新潟県中央メーデー 「なくせ長時間労働」

4月28日（土）連合新潟主催の第89回県中央メーデーが、新潟市陸上競技場において快晴の中約4,000名が参加し開催されました。

牧野会長は挨拶の中で、「高度プロフェシヨナル制度」の創設が盛り込まれた働き方改革関連法について「過労死、過労自殺をなくすという法案の趣旨と異なる」と痛烈に批判し、「政府の『働かせ改革』ではなく、働く者のための真の働き方改革を実現し、穏やかで安心して働き続けられる社会をつくろう」と強調した。

式典前に、二つのルートで新潟市中心部をデモ行進し、参加者は、「ワーク・ライフ・バランスの充実」「ノーモア時間外」などと書かれた横断幕やプラカードを掲げ、シュプレヒコールを上げた。



14番目の新規会員加入

5月29日開催の第118回労福協理事會において、「非特定営利活動法人フードバンクにいがた」（高見優理事長）が14番目の会員として承認されました。

フードバンクにいがたの総会記事も左に記載していますが、労福協としても、「もったいないから、ありがとう」の精神で全面的にフードバンクにいがたの取組みに協力していきます。

労福協の取り組み各事業の強力なパートナーが増え大変うれしい限りです。今後も食欲に会員の拡大を追求していきます。

NPOフードバンクにいがた 第2回総会

4月20日（日）、「NPOフードバンクにいがた」第2回総会が新潟市立中央図書館で、90名が参加し開催されました。昨年の12月25日に特定非営利法人としての設立が新潟県から認可され、この間の「フードバンクにいがた」の活動をそのまま引き継ぐこととなりました。

総会では、2018年度の活動方針が承認され、食品受取量を、年間30トンとした目標を立て（前年実績26トン）今まで以上の取り組みが求められていると再認識しました。

総会後の講演は、阿部彩氏（首都大学東京教授）から、「子どもの貧困から見えるフードバンクの役割」と題して、貧困につながる根源は、食であること、とりわけ、子供の食の格差により、いじめ問題、健康と医療問題など、深刻な問題を誘発させるとの見解がデーターに基づいて説明されました。最後に、「一番重要なのは、子どもの貧困が、日本の最重要政策課題として認識を広めること」との講演でした。

その後、シンポジウムが開催され、フードバンクの役割が大きく求められている時代背景があると参加者一同共有することのできた有意義なシンポジウムとなりました。



主な役員、理事長…高見優、副理事長…間英輔、斎藤弘明、専務理事…山田太郎。

新潟ろうきんATMのご利用が ピンクリボン運動の 支援につながります。



↑このステッカーが貼られたATMでのお取引が対象となります。

ろうきん普通預金口座からのお引出し1回につき1円を新潟ろうきんが拠出し寄付いたします。

新潟県内等でピンクリボン運動を支援している団体

乳がんをなくすための啓発活動等に活用されます。

新潟ろうきん
TEL 0120-191-880

※月～金の祝日（振替休日含む）、5月3日～5日、12月31日～1月3日、1月4日または5日が土・日曜日の場合は除きます。

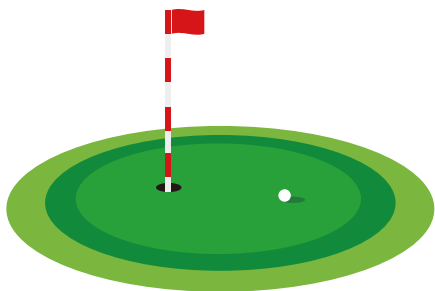
第31回チャリティーゴルフ大会 「フードバンクにいがた」に寄付!!

5月10日（木）、県労福協主催による第31回チャリティー大会がフォレストカントリー倶楽部にて開催されました。

大会当日は、あいにくの雨となり、日ごろの実力が発揮できない参加者が続出する厳しいゴルフ日和となりました。しかし、それぞれにプレーを楽しみながら交流を深め合うことができました。

参加者の厚意により集まったチャリティー金122,000円は、「フードバンクにいがた」に、6月20日の労福協総会の後の創立30周年記念祝賀会場で、牧野理事長から全額「フードバンクにいがた」高見理事長に寄贈しました。

参加者の皆様のご協力にあためて感謝申し上げます。



<大会の上位入賞者>

東コース優勝者	本間 吉治（JP労組）
西コース優勝者	福島 卓真（日青堂）
準優勝	山田 寿（自治労）
東ベストグロス	伊藤 一彦（全自交労連）
西ベストグロス	江花 和郎（労働金庫）
レディス優勝	田口 直美（JAM新潟）



ZENROSAL NEWS

1518A005

組み合わせてますます安心 全労済の



おかげさまで全労済は
60周年を迎えました

マイカー共済

自動車総合補償共済

基本補償	
ご自身の補償 〈人身傷害補償〉 最高5,000万円 （自動車事故傷害見舞金付）	相手方への賠償 〈対人賠償〉 〈対物賠償〉 無制限 無制限 （対物超過修理費用補償付）
故障のときも安心! (24時間×365日) マイカー共済ロードサービス付	
お車の補償〈車両損害補償〉 一般補償 付随諸費用補償	特約・割引 運転者本人・配偶者限定特約 ハイブリッド車割引

自賠責共済

自動車損害賠償責任共済



ご相談
ください。

自賠責共済(保険)とは、自賠法(自賠責保険についての法律)によって、道路を走るすべての自動車(二輪車を含む)・原付自転車を使用する際に、**加入が義務づけられている共済(保険)です。**

●お支払いできる事故

ご契約車両を運転中に、他人にけがをさせたり、死亡させたことにより賠償責任を負った場合に共済金を支払います。



●お支払いの内容

死亡	最高 3,000万円
けが	最高 120万円
後遺障がい	程度に応じて4,000万円～75万円

※神経系統・精神・胸部臓器に著しい障がいを感じて介護が必要な場合
 一時介護:4,000万円(第1級)、
 臨時介護:3,000万円(第2級)
 ・上記以外の後遺障がい:3,000万円(第1級)～75万円(第14級)

マイカー共済・自賠責共済 あわせてのご加入をおすすめします。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。

新しく組合員になられる方へ(出資金について) 全労済は消費生活協同組合法にもとづき、非営利で共済事業を営む生活協同組合の連合会です。生活協同組合は、組合員の参加により運営されており、出資金をお支払いいただければどこでも都道府県生活協同組合連合会となることができ、各種共済に加入できます。新しく組合員となられる方には、生活協同組合連合会のために出資(1,000円以上)をお願いしています(出資金は1口100円で、最低1口以上の出資が必要です)。出資金は、加入される共済の掛金払込方法に応じて次のとおりお支払いしています。【掛金の払込方法】月払いの場合:1,200円(毎月100円×12ヵ月)、半年払いの場合:1,000円(1回500円×2回)、年払いの場合:1,000円(1回のみ)、一時払いの場合:1,000円(1回のみ) ※マイカー共済のみ・月払い・年払いの場合ともに1,000円(1回のみ)

全労済は、将来の支払いに備えて、厚生労働省令に定められている共済契約準備金をこえる充分な積み立てを行っています。また、資産運用のリスクを適切に管理し、健全な資産運用を行っています。全労済は、これからも引き続き健全な経営に努めていくとともに、情報開示を積極的に行っていきます。また、個人情報保護法をはじめ関連する法令等を遵守し、お預かりしたお客さまに関する情報について厳重な管理体制のもとに正確性・機密性・安全性の確保に努めています(※詳しくは各都道府県生活協同組合にお問い合わせください)。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご確認ください。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをねがっています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済

全労済(新潟県生活協同組合連合会)

新潟推進本部

(新潟県総合生活協同組合)

東部ブロック労福協 第217回幹事会

5月14日(月)、東部ブロック労福協第217回幹事会が、東京都ホテルラングウッドにおいて開催されました。

幹事会では、第218回幹事会・代表者会議・OB会(8月、新潟県新潟市開催)、事業団体責任者会議(9月、千葉県開催)、ライフサポート事業経験交流(9月、栃木県開催)、東部ブロック福祉リーダー塾(6月、静岡県開催)、等の運営などについて確認しました。

特に、次年度の第12期福祉リーダー塾の運営は、この間の1泊2日の2回開催から、経費的な課題もあり今回から2泊3日の1回開催としたため、講義内容など充実をはかって対応することを改めて確認しました。



2018年度全国研究集会 「貧困や社会的孤立に 陥らない地域をつくらう！」

6月4日(月)・5日(火)、中央労福協主催の、2018年度全国研究集会が岡山市において全国から約340名(新潟県7名)が参加し開催されました。

「貧困や社会的孤立に陥らない地域を作ろう!」と支えあい、助け合いのネットワークを広げよう!」をテーマに開催されました。

初日は、厚生労働省の本後・生活困窮者自立支援室局長が講演し、50歳時点で未婚の男性は約10年後に3割、女性で2割に上る見通しや近所と親しく付き合う高齢者の割合が2014年は31.9%まで下がったとの統計に触れ、人間関係の希薄化が進んでいると指摘しました。その上で、地域社会からの自立対策を理念に盛り込み、6月1日に成立した改正生活者自立支援法に言及し、「社会保障制度の中で孤立の問題にどう対応していくかを考えなければならない時期に来ている」と強調しました。

講演IIでは、若者支援活動のこれからと題して、谷口・NPOスチューデント・サポート・フェイス代表から、佐賀県における若者のに対する支援状況の厳しい現場実態報告が、自らの生活体験も添えて行われました。

5日は、各地区の取組報告がなされました。



労働金庫から生活資金や住宅資金を
借り入れる際の保証人となる

**勤労者のための
信用保証機関です。**

【保証引受の実績】

(2018年5月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高	
無担保ローン	40,581件	62,732,893,791円
有担保ローン	11,352件	136,923,088,112円
合 計	51,933件	199,655,981,903円

一般財団法人 **新潟県労働者信用基金協会**

〒951-8113
新潟市中央区寄居町332番地18

東部ブロック労福協 第12期福祉リーダー塾

6月14日(木)～16日(土)にかけ、労福協運動の新たな創造をめざし、東部ブロック労福協第12期(前半)福祉リーダー塾が静岡県三島市で開催されました。なお、今回から昨年までの前期・後期(各々1泊2日)の開催ではなく、2泊3日の1回で開催する方式となりました。

新潟県労福協からは、齋藤敏明理事長、佐藤事務局長(労福協)、齋藤康成さん(全港湾)、前川祐樹さん(新潟労金)、山田博幸さん(全労済)の5名が出席しました。なお、齋藤理事長は、今回講師および東部ブロック副会長として出席しました。

第1講座 「労働運動・労働者自主福祉運動の理念と歴史」講師 高橋 均氏(中央労福協アドバイザー)

第2講座 「連帯社会の担い手としての労働者自主福祉へ」「小論文の提出と作成のポイント」講師 高木郁朗氏(日本女子大学・名誉教授)

第3講座 「福祉事業団体としての労金運動の課題」講師 松迫卓男氏(中央労金・理事長)

第4講座 「福祉事業団体としての全労済運動の課題」講師 廣田成巳氏(全労済関東統括本部長)

第5講座 「ビジネスユニオニズムからソーシャルユニオニズムへ」講師 山本幸司氏(中央労福協アドバイザー)

第6講座 「地域で活動している団体からの報告」

①「労福協の活動と地域との関わり」講師 齋藤敏明氏(新潟県労福協理事長)

②「地域の福祉団体の活動」困窮者支援」講師 鈴木和樹氏(NPO法人「ポポロ」)

第7講座 「労働者自主福祉と地域ネットワーク」講師 麻生裕子氏(連合総研・主任研究員)

7つの講座を受講し、各グループに分散して、①「生活・社会不安に対する課題の対応について」、②「今後の業務(個人・団体)との連携について」、③小論文の課題、など、グループ討議により議論を深めました。



新潟県労働金庫 第66回通常総会

6月25日(月)ANAクラウンプラザホテル新潟にて、新潟県労働金庫第66回通常総会が開催されました。開会にあたり、労金を代表して、江花理事長から、「労金と労働組合の関係が希薄となっていた。労働者自主福祉運動としての労金運動を再確認し、労働組合との密接な関係づくりと一層の利用を進めるために、笑顔プロジェクトを3年間取り組み、結果として、労働組合との関係を再構築し強めていく足がかりとなった」「すべての働く人に良質な金融サービスを提供して、その暮らしを生涯にわたって安定させ快適なものにするための取り組みを強化したい」などの、挨拶がされました。その後、4団体からの来賓挨拶、23会員への事業表彰がありました。

議案審議では、第66期業務報告、2018年度事業計画の設定の件、役員選任の件など、決議事項が全て承認されました。

なお、役員改選では、3期6年間、理事長職を務めた江花和郎氏が退任し、新理事長に齋藤敏明氏が選任されました。



新潟県日韓親善協会と 駐日本大韓民国 特命全権大使との懇談会



4月11日(水) 日韓親善協会の役員は、駐日本大韓民国特命全権大使の李洙勲大使ご夫妻と懇談会を開催しました。

大使は、前日、新潟大学で記念講演を行い11日は新潟県知事など表敬訪問を行い帰京する前に、日韓親善協会の役員と懇談会を開催したいとのことでの開催となりました。昼食を食べながら日常生活の話題など出席者と和やかな懇談となりました。

改めて、大使からは、私たちの活動に感謝の意が表明され、特に、「政府レベルで解決できない難問もありますが、民間交流が今後の政府間の親善交流につながる」との表明もあり、親善協会の重要性を再認識する貴重な懇談会となりました。

2018年度

日韓親善協会総会・記念講演・交流会

日韓互いに理解深めて 駐新潟総領事館が記念講演

5月31日(木) 新潟東映ホテルにおいて、2018年新潟県日韓親善協会の定期総会が開催され約60名が参加しました。2017年度事業・決算報告、2018年度事業計画・予算などを承認し、齋藤敏明氏が会長を退任し、新会長に会社役員の片桐奈保美氏が就任しました。新たな役員体制について承認されました。

その後、韓国総領事館の鄭総領事から「21世紀の韓日関係と韓半島情勢」と題して講演会を開催しました。総領事からは日韓関係の発展に向けて「双方が、相手国に対する関心、理解を深めるための努力を続けることが大切だ」と訴えました。その後、交流会を開催しました。



新潟ろうきん福祉財団 「県民・勤労者の福祉向上に関する事業」

今年は、高田で開催されます!

2018 にいがたワーク&ライフフォーラム in上越

期 日:2018年10月13日(土)

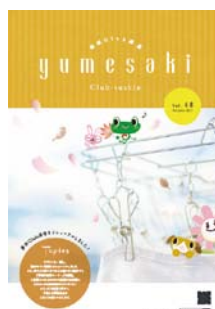
場 所:高田オーレンプラザ(高田公園内)

※セッション内容等詳細が決定しだい「新潟ろうきん福祉財団」ホームページ等でご案内いたします。みなさまの参加をお待ちしております。

一般財団法人 新潟ろうきん福祉財団

URL <http://www.zaidan-hukushi.or.jp>

<新潟ろうきん夢咲Clubからのお知らせ>



この度、<夢咲Club>は「新潟ろうきん」と「夢咲Club」双方の認知浸透を目的に、<新潟ろうきん夢咲Club>へと名前が変わりました。これまで同様、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

<新潟ろうきん夢咲Club事務局>

新潟県労働金庫本店5階

連絡先 TEL 025-201-8765

FAX 025-201-8755

E-mail: yumesaki@n-yume.jp

2018年度 新潟県消費者協会総会



4月24日(火)、新潟エニジンプラザにおいて、2018年度新潟県消費者協会総会が、122名の参加で開催されました。

長谷川会長から、「消費者の生活を脅かす課題が多くあり、消費者啓発・被害防止等の取り組みの重要性が益々高まっている状況である」との挨拶がありました。

総会終了後、記念講演として「ハードオフ流こだわり経営とは」と題して、リユース・リサイクルは地球環境に一番優しいビジネスであるとの内容で、山本善政氏(ハードオフコーポレーション会長)から、今日までの自らの道のりや経営理念について熱く講演がありました。さすが、「HARD OFF」は富士山のような日本一のリユースカンパニーを目指す会社である」と感銘を受けました。ちなみに、業績は、総額で525億円、従業員3,129名、平均年齢33歳だそうです。

消費生活ネットワーク新潟 第1回通常総会

6月9日(土)新潟テレビにおいて、消費生活ネットワーク新潟第1回通常総会が35名の参加で開催されました。

ネットワーク新潟は、2017年4月に特定非営利活動法人(NPO法人)として認定され、県内における消費者被害の未然防止・拡大防止のための活動(新潟県受託事業)や消費者からの情報提供に基づき、事業者への申し入れ活動や県内各地で被害防止のための学習会などの活動を行ってきました。

総会では、2018年度活動計画、2018年度予算を承認し役員選任を行いました。県労福協では、理事として山田前専務から間専務に交代し、監事は、小野塚事務局長から佐藤事務局長に交代しました。

また、総会開催前には、記念講演として「消費者機構日本(COJ)の差止請求の実践」(メガバンク・建設業界・フィットネスクラブ業界など)の申し入れを中心として、COJ代表理事・副理事長の佐々木孝氏より講演を受けました。



旅行企画・実施 新潟交通株式会社

新潟県労福協企画「友好の旅」

台湾

旅行出発日 2018年 11月9日(金)

旅行代金 129,000円

4日間

大人お1人様(2名1室利用時)
※台北市内観光(日程2日目)不参加の場合 119,000円

日次	都市名	時間	旅行内容・食事・宿泊地
1	新潟空港 桃園空港 台北	午後 夕刻 夜	新潟空港よりファースタン航空にて空路、台北へ 台北到着。入国手続き後、台北市内へ 台北市内に台湾料理の夕食
2	台北	午前 午後 夜	ホテルにて朝食後、台北市内観光 ○忠烈祠 ○中正紀念堂 △總統府 ●免税店 ●台北101展望台 ●故宮博物院 ●金龍民芸品店 昼食は小籠包の名店「鼎泰豐」にて点心料理 観光不参加の方は夕方までフリータイム(昼食は付きません) 皆様全員で宿泊ホテルを出発 夕食は「欣葉」にて本場台湾料理を楽しみながら友好パーティー
3	台北	終日	ホテルにて朝食後、終日フリータイム ～ご希望の方は各オプションツアーへ～
4	台北 桃園空港 新潟空港	朝 午後	ホテル出発、空港へ ※朝食の用意はございません 台北よりファースタン航空にて空路、新潟へ 新潟空港到着後、解散。お疲れさまでした

●食事条件: 朝食2回、昼食1回、夕食2回(機内食を除く) ※台北市内観光(日程2日目)不参加の場合、昼食0回 ●最少旅行人数: 25名 ●添乗員: 新潟空港より同行します ●利用航空会社: ファースタン航空(遠東航空)エコノミークラス利用 ●利用ホテル: インベリアルホテル台北(台北華園大飯店)(2名1室利用) ※1人部屋追加代金27,000円(3泊分) ※燃油サーチャージ3,000円、台湾空港税1,850円(2018年4月15日現在)が別途必要です

専用パンフレットをご用意しております

お申込み・お問合せ
生活協同組合
コープクルコ

コープ・トラベルセンター

http://www.niigata-travel.coop

新潟県知事登録旅行業第2-321号
全国旅行業協会正会員
株式会社 コープサービス
総合旅行業務取扱管理者 高橋 孝

新潟営業所
〒950-0086 新潟市中央区花園2-1-6
☎025-245-4110

長岡営業所
〒940-0036 長岡市愛宕3-7-24
☎0258-39-7730



地区労福協からのたより

新潟 新潟地区労福協

新潟地区労福協等でサポートする「にいがたお米プロジェクト」が今秋始動します。生活の厳しいひとり親家庭などへ、毎月無料でお米を宅配する新潟県内初の取り組みです。初年度は新潟市東区在住の100世帯を対象としてスタートさせます。

お米はNPO法人フードバンクにいがたから提供してもらい、さらに農家や地域の皆さんからも寄付を受け付けます。運搬・宅配などの作業はボランティアを募り、研修を受けてもらった後活動に参加してもらいます。運営支援は個人・団体から広く募集し、同時に賛助会員・団体賛助会員の募集もしていますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

（にいがたお米プロジェクト事務局）
TEL 025・250・6785



下越 第7回下越地区 労働者福祉協議会 定期総会開催

6月26日（火）、第7回下越地区労働者福祉協議会定期総会を開催しました。福井会長の挨拶では「下越労福協は広域で認知度がまだ低い現状です。下越ライフサポート事業で関連団体と連携して運動を広め、地域での勤労者福祉活動の推進を目指します」とありました。来賓挨拶では小野塚新潟県労働者福祉協会事務局長、柴田新発田公共職業安定所長からお祝いのお言葉を頂きました。

報告事項では、2017ライフセミナーin五泉について実績報告、2018年度活動計画で新潟地区労福協と提携して9月に新潟市内でワーク&セミナーを開催予定です。また、若者を対象としての福祉学習会、レクリエーション活動等を各地域で行い、周知活動として地区リーダーでチラシ配布を行います。組合員に運動を知ってもらうには何をすれば良いかを議論しました。



岡 長岡地区 地区労福協総会報告

長岡地区労働者福祉協議会は、6月21日（木）午後1時30分から2018年度総会をまちなかキャンパス長岡で開催しました。

矢島会長は挨拶で「地域のセーフティーネットを高める労福協でありたい」と述べ、LSC事業やセミナーなどへの協力を求めました。続いて、里村長岡市産業政策課長、佐藤新潟県労働者福祉協議会事務局長から来賓挨拶がありました。

報告事項では、17年度事業報告、同・LSC決算報告、同・地区労福協決算報告と監査報告が各担当から行われ承認されました。主に、2017にいがたワーク&ライフフォーラムin長岡の開催、LSC事業が報告され、続いて18年度事業計画案と予算案を提案のとおり確認しました。

18年度事業計画では、ワーク&ライフセミナーを11月の土曜日に、5分科会程度と交流会を開催することとしました。目的を「人材の育成と交流」とし、単に話を聞くだけではなく、「参加して考える」をイメージし、昨年までのフォーラムやセミナーの経験とNPOや市民団体とのつながりの中で有意義なものとなるよう計画を進めることとしました。

また、LSC事業は、17年度事業と同

各地区労福協総会開催状況

1. 佐渡地区労福協

5月30日 佐渡市「連合佐渡地協」

2. 小千谷地区労福協

6月20日 小千谷市「プラザ片山」

3. 県央地区労福協

6月28日 三条市「ソレイユ三条」

様に相談者に向きあった相談対応、心と身体を守るセルフケア事業の継続を確認しました。この事業の基本は「地域で生活する人たちの拠り所、問題解決の場」として、「地域からLSCが必要で、ここに相談して良かったといえる事業」となることを追求していくものであること、そのためにあらためての会員の協力を確認しました。

総会の最後には、参加の各団体から事業状況や様々な課題等が話され、参加者で共有しました。



開催案内

健康経営

⑤ 連合新潟 2018地域フォーラム

で社員と企業どちらも健康になろう!



県内では多くの企業が人手不足に直面し、そこで働く人たちは長時間労働による健康へのリスクが高まっています。また、経済産業省の調査では、学生が就職にあたり重視するポイントとして、『従業員の健康や働き方に配慮している』ことが給与水準や企業規模などを大きく上回っています。経営者・労働者・学生を対象に、『健康経営』への理解を深めるため、経営者・労働者の代表がディスカッションを行います。

開催日 2018年 **9月11日** (火) 14:30~16:40

万代市民会館6階・多目的ホール (新潟市中央区東万代町9番1号)

1. 基調提起 『健康経営の必要性とその効果について (仮称)』

八木 敏昭 氏 (新潟大学 教育・学生支援機構)

2. パネルディスカッション

コーディネーター: 長尾 雅信 氏 (新潟大学 准教授)

パネラー (4名): 村山 敏夫 氏 (新潟大学 准教授)

土志田 敬祐 氏 (株式会社タニタヘルスリンク 取締役)

牧野 茂夫 (連合新潟 会長)

(ほか1名調整中)

※参加申込方法は別途ご案内いたします。詳しくは連合新潟 (Tel.025-281-7555) へお問い合わせください。

日本労働組合総連合会新潟県連合会(連合新潟) <http://www.jtuc-rengo.jp/niigata/>

Kuruko クルコ

毎日食べるものだから新潟県産・国産にこだわります。
生産者の顔がみえる安全・安心の宅配サービス!

素敵な特典いっぱい!

**新規ご加入
キャンペーン**

今ご加入すると

**クルコの人気商品
プレゼント!!**

画像はイメージです。

資料請求で

クルコの説明を希望される方に

ドライバックセットプレゼント!!

※商品が無くなり次第終了となります。

co-op
コープ

コープクルコ

クルココールセンター / 9:00~19:00 月~金曜

0120-222-559

資料請求応募フォームは
こちらからアクセス!

コープクルコ



調査・研究事業 報告

連載 第2回

あなたの職場は大丈夫？

— 労働安全衛生法の「原点」を振り返る —

公益社団法人 新潟県自治研究センター

2018年2月に発刊した、「勤労者の健康・医療の現実と将来へのステツプ」に関する調査・研究報告書『あしたへー健康と医療のセーフティ・ネット—』について、今回はその調査の経過と趣旨について述べたところである。

そこで、第2回から4回にかけては、報告書における総括論文とテーマ別報告について、それぞれ概要を紹介していく予定である。

今回は、労働安全衛生法が最初に成立した1972年の国会論議を基に、同法の意義と今日的課題について論じた。「労働安全衛生法制定過程における論点と今日的な課題について—特に第68回国会の論争を中心にして—」（齋藤喜和）を紹介する。

【拙稿の目的】

労働安全衛生法が国会において全会一致で可決成立してから45年以上が経過し、その後同法は時代の変化に合わせ改正を重ねている。近年ではメンタルヘル

スへの対応という新たな重要課題も加わり、「働き方改革」の動きともあわせ、労働安全衛生についての注目度は大きくなってしかるべきところである。

ところがアンケート調査の結果をみると、労働安全衛生法に基づく取り組みや制度の活用が、労働組合にとつて重要視されているという印象は強くない。当時の与野党、保革、労使それぞれの立場から議論を積み上げて成立させた法律の「原点」が忘れられている点が否めない。この分野の第一人者である畠中信夫氏が、2003年当時の講演で、「31年前の安衛法の制定当時も問題として存在し、現在も相変わらず課題として存在し続けている事項」に、「『分かりやすさ』の問題」、「小零細企業における法の実効確保の問題」、「請負作業に係る労働災害の防止の問題」、「マンネリ化の問題」などを挙げているが、そうであれば、制定当時の社会的な状況や制定過程での議論をあらためて振り返りながら、論点を再確認する必要があると考えたと

ころである。

以下、どのような点が争われたのかについて述べておきたい。

【4つの主な論点】

① 労基法からの「独立」

労安法は、元々労働基準法から労働安全衛生の分野を独立させた法律である。労働災害が長時間労働や低賃金等の労働条件に起因するものであるとすれば、労安法が労基法と一体的運用されるべきことを追及し、政府も野党側の趣旨を受け入れている。

② 労災問題追及とセツトの論戦

労安法案の審議では、当時の労働災害問題（鉛中毒の労災認定問題や新幹線建設工事の労災問題、電機産業におけるPCBの問題等々）とセツトで野党各党が追及した背景がある。社会労働委員会でもっとも議論がされたところであり、この議論の延長で法案に示された「労働者の協力」の範囲の修正がはかれることとなった。

③ 安全衛生委員会

安全衛生委員会の開催について、政府が正式に「月1回」について言及したのも野党の質問に対してである。委員会の権限強化と運営のあり方についての質問で、産業医の人材確保の課題にも言及しているほか、労安法のわかりにくさについて野党側が指摘しており、今日につながる問題でもある。

④ 安全、衛生の規制基準

健康管理手帳制度について支給対象を拡大すべきという追及が、製造禁止の有害物質の範囲を拡大すべきという議論につながるものとなった。この質問は与党側委員が口火を切ったものであり、今日の「質問時間だけは増やせ」とする与党の姿とは質の違いを感じさせるものがある。

【何を教訓とするか】

労働安全衛生法は与野党共同提案による法案修正のうえ、全会一致により成立をみた法律であるという点も重要である。産業界主導でつくられたとの趣旨で説明されることが多いが、その制定過程を振り返ったとき、当時の労働団体や労働者側の実態を反映した野党側の論戦が大きな意味を持っていたのである。

成立当初から「わかりにくい」との指摘がなされながら、「キャリア教育」場をはじめとして、今日まで学ぶ機会の乏しい同法であるが、高度成長期最終盤、「労働攻勢」の時代が勝ち取った「宝」として捉え直すことで、労働者の側から新時代の労働安全衛生を充実化させていく動きがつけられることを期待し論じたものである。

（文責・新潟県自治研究センター

研究主幹 梶口敏行）

ZENROSAI NEWS

1518S011

家族全員の不安、 こくみん共済で解消!!



おかげさまで全労済は
60周年を迎えました



一人一人にみつける安心。

わんぱくなお子さまには

キッズワイドタイプ

満0歳～満14歳の健康な方

月々の掛金 **1,600円**

キッズタイプ

満0歳～満14歳の健康な方

月々の掛金 **900円**

誤って他人のものを壊してしまったとき

最高100万円保障 (免責5,000円)

お子さまに多い腱の断裂や骨折などのとき

6.5万円保障 (キッズワイドタイプの場合)

大黒柱のお父さんには

総合2倍タイプ

満15歳～満44歳の健康な方

月々の掛金 **3,600円**

医療安心タイプ

満0歳～満59歳の健康な方

月々の掛金 **2,300円**

交通事故で死亡または
重度の障がいが残ったとき

2,400万円を保障

先進医療を受けたとき

最高600万円保障

頑張るお母さんには

医療タイプ

満0歳～満59歳の健康な方

月々の掛金 **1,600円**

がん保障プラス

満15歳～満44歳の健康な方

月々の掛金 **1,400円**

子宮筋腫などの
女性特有の病気の
手術には

**1回につき
6万円を保障**

がん(悪性新生物)と
生後はじめて
診断されたとき

**1回に限り
100万円を保障**

おじいちゃんおばあちゃんには

シニア傷害安心タイプ

健康状態にかかわらず満60歳～満79歳の方

月々の掛金 **2,000円**

シニア医療タイプ

満60歳～満64歳の健康な方

月々の掛金 **2,000円**

第三者への損害賠償

最高1億円保障

病気やけがで
入院したとき

**日額3,500円
を保障**

こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・高齢定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。

新しく組合員になられる方へ(出資金について) 全労済は消費生活協同組合法にもとづき、非営利で共済事業を営む生活協同組合の連合会です。生活協同組合は、組合員の参加による運営されており、出資金をお支払いいただいた方であればどなたでも都道府県生活協同組合連合会となることができ、各種共済に加入できます。新しく組合員となられる方には、生活協同組合連合会のために出資(1,000円以上)をお願いしています(出資金は1口100円で、最低1口以上の出資が必要です)。出資金は、加入される共済の出資金に充てられ、次のとおりお支払いいたします。【出資金の払込方法】月払いの場合:1,200円(毎月100円×12ヵ月)、半年払いの場合:1,000円(1回500円×2回)、年払いの場合:1,000円(1回のみ)、一時払いの場合:1,000円(1回のみ) ※マイカー共済のみ:月払い・年払いの場合ともに1,000円(1回のみ)

全労済は、将来の支払いに備えて、厚生労働省令に定められている共済契約準備金をこえる充分な積み立てを行っています。また、資産運用のリスクを適切に管理し、健全な資産運用を行っています。全労済は、これからも引き続き健全な経営に努めていくとともに、情報開示を積極的に行っていきます。また、個人情報保護法をはじめ関連する法令等を遵守し、お預かりしたお客さまに関する情報について厳重な管理体制のもとに正確性・秘密性・安全性の確保に努めています(※詳しくは各都道府県生活協同組合連合会にお問い合わせください)。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご確認ください。

詳しくはリーフレットをご覧ください。

全労済は、営利を目的としない保障の
生協として共済事業を営み、組合員の
皆さまの安心とゆとりある暮らしをめ
ざっています。出資金をお支払いいた
だいて組合員になれば、各種共済を
ご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

新潟推進本部

(新潟県総合生活協同組合)

連帯社会シンポジウム IN新潟の開催

8月4日(土) 新潟市駅前「コープシテイ花園ガレソン4階」において以下の内容でシンポジウムを開催しますので、多数の皆様からの参加をお願いします。

1. シンポジウムの時間

13:00～16:00

2. テーマ

「人のつながりが地域を作る」NPO・協同組合・労働組合がつかうることの可能性」

主催…連帯社会研究交流センター
後援…新潟県労福協、連合新潟、新潟県生協連

3. 内容

(1)基調講演 中村圭介(連帯社会研究交流センター長)
「生活上の諸困難と地域でつながることの大切さ」

(2)活動報告

①新潟県労福協…新潟県内における労福協活動 専務理事 間 英輔

②新潟市パーソナル・サポート・センター…生活困窮者自立支援事業の現状と課題 センター長 蛸原 勝

③ささえあいコミュニケーション生活協同組合新潟…ささえあい生活協の事業の現状と課題 理事長 高見 優

4. パネルディスカッション

コーディネーター…中村圭介
パネリスト…活動報告者3名

【主な内容】

生活上の諸困難を抱える地域に暮らす人々を支えるネットワークがまだ十分には張られていないという現状を踏まえ、どのようにしたらよいのかを、それぞれの立場から率直に論じてもらう。障がい者支援と生活困窮者支援という垣根を越えて、それぞれが何をすればよいのか。様々な連携の可能性と今日的な課題等について。

編集後記

○今までなかった編集後記を開始します。今月号の期間中に開く出来事を中心に少しだけお知らせします。○6月20日に開催した第39回総会後の、創立30周年記念祝賀会について補足説明をします。○アトラクションとして古町芸妓の舞、ヤングキャベツの爆笑コントは如何でしたでしょうか。知事は挨拶で、新潟の文化であると古町芸妓の舞について絶賛いただき事務局はとても安堵しました。○ある、労福協理事の方からは、年初めの名刺交換会でも毎年お呼びするべきとの強いご意見を後日頂きました。○今後の理事会で、提案すべきかどうか悩んでいるのが現実です。○ヤ

ングキャベツのギャグの中で、「完全アウエーの会場によく出席いただいた」との発言は、当事者の方がお帰り後でしたが、意味深い発言でした。○労福協力作の「30年のあゆみ」発刊にあたっては多くの皆様のご協力によるものであり、特にT・Y氏に感謝申し上げます。○関係機関に配布したつもりですが、届いていない団体があれば労福協に連絡願います。速やかに送付いたします。○6月末で、小野塚勝二事務局長が退任しました。本日に2011年4月から、LSC事業・PS事業に関わっていたいただき感謝申し上げます。わからない所があれば速やかに携帯に電話しますので受信拒否はくれぐれもないようお願いいたします。

(新光町のカンペイ)

今後の日程

7月	13～14日(金～土) 第6期にいがた福祉リーダー塾(万代シルバーホテル)
	17日(火) 新潟県日口親善協会第34回総会&セミナー&交流会(新潟東映ホテル)
8月	2～3日(木～金) 東部ブロック労福協第218回幹事会・代表者・役員OB交流会(新潟県)
	4日(土) 連帯社会シンポジウムin新潟(新潟駅前ガレソン)
	20日(月) 第120回県労福協理事会(労福協会館)
	26～30日(日～木) ロシアへ国際交流代表団派遣
9月	5～6日(水～木) 東部ブロック労福協事業団体責任者会議(千葉県)
	11～12(火～水) 東部ブロック労福協ライフサポート経験交流会(栃木県)
	15日(土) 2018年度未来塾(新潟市内)
	17日(月) 第28回新潟県勤労者駅伝大会(新潟市陸上競技場)
	20～21日(木～金) 第2回地方労福協会議(愛知県名古屋市)
10月	26～27日(水～木) ライフサポートセンター実務者研修会(東京都)
	3～4日(水～木) 東部ブロック労福協第219回幹事会(群馬県)
	13日(土) ワーク&ライフフォーラムin上越(上越市)
	19日(金) 東部ブロック労福協第12期リーダー塾修了式(東京都)